

社会福祉法人

発行日 2021年8月
No.10

たんぽぽ福祉会報

社会福祉法人たんぽぽ福祉会

大阪府枚方市中宮北町10-14

<http://www.watage.jp>

発行責任者 早瀬 眞喜子

私たちは
ひとりひとりの生活と権利が守られ
すべての人が大切にされる
社会福祉の発展に貢献します

- ・未来の社会を担う子どもたちの命を守り 限らない発達保障をめざします
- ・多くの人と手を結び 住みよい街づくりを進めます
- ・憲法をくらしに生かし 子どものしあわせと平和な社会をめざします

コロナ禍での新しい楽しい保育の模索を

— 保護者・保育者、地域とともに、子どもたちに明るい未来を —



たんぽぽ福祉会 理事長 早瀬 眞喜子

2020年度は新型コロナウイルス感染対策として、緊急事態宣言の発令で保育園の原則休園や自粛生活を強いられ、その後も様々な制約が続いています。2021年度に入っても感染の収束は見られず変異株の出現など厳しい状況が続いています。「コロナ疲れ」という言葉も飛び交い、私たちの生活は大きく変化しました。

その中でも各保育園では、感染対策をおこないながら、子どもたちにとって新しい楽しい保育、保護者が安心して預けられる施設として、様々な制約はありながらも創意工夫して、マイナスをプラスに変える視点で取り組んできました。各保育園のページに具体的な取り組みが掲載されていますので参照下さい。現在も制約はありますが「子どもを主体」に保育を考え、保護者とのつながりには動画発信などICTを活用しての発信が進みつつあります。

また、地域活動において緊急事態宣言では、一時期活動を中止しましたが、家庭で子育てしている母親は、「取り組みの再開を心待ちにしていた」との声が寄せられ、孤立した子育てが何え、一時預かり事業はこれまでにない利用になりました。

そして、コロナ禍のもと保育所の職員はエッセンシャルワーカーとしての位置づけが社会の中で認知され、保育園は社会になくてはならない施設になりました。

しかし、施設の面積基準や保育士の配置基準などの最低基準は、数十年前のままの基準であり、学校はコロナ禍のもと「30人学級」が打ち出されましたが、保育園も年齢によるクラスの規模の基準が必要です。保育所は子どもと職員の最低（配置）基準はありますが、クラス規模の基準はありません。

現在、ワクチン接種が進む中、少し明るい兆しがありますが、ワクチン不足の混乱もおこり希望するすべての人が接種できるには、時間がかかりそうです。

こんな時だからこそ、保護者と保育者、地域とともに手をとりあい、子どもたちの明るい未来にむかって進んでいきましょう。

2020年度 本部事業実績報告

理事会・評議委員会の日程・内容

- ◎理事会 2020年6月12日 ・2019年度事業報告について・2019年度決算について
・津の辺保育園共同募金助成金事業について
・津の辺保育園園庭改修工事について
・評議員選任・解任委員会運営細則について・定時評議員会について
- 定時評議員会 2020年6月22日 ・2019年度事業報告と決算（同意書）
- ◎理事会 2020年11月25日 ・2020年度補正予算について
・暇たんぼ保育園土地購入問題について
・評議員選任・解任委員会について ・評議委員会の開催について
- 評議員会 2020年11月28日 ・2020年度補正予算について
・暇たんぼ保育園土地購入問題について
- ◎理事会 2021年3月17日 ・2021年度事業計画と予算について・評議員選任・解任委員について
・評議員選任・解任委員会について ・評議委員会の開催について
- 評議員会 2021年3月25日 ・2021年度事業計画と予算について
- ★監事監査 2020年6月12日

年 間 行 事

職員の労働と安全な環境を考える会

担当職員が働きやすい職場環境という視点で各園のチェックを行い、健康に働くための対策を考える会ですが2020年度はコロナ禍で巡回は出来ませんでした。密にならない対策や消毒の徹底などに感染防止対策に労力を使い、緊張の中で保育する職員が長く健康で働き続けられるために、今年度も公認心理士による職員の簡易ストレスチェックを実施し、希望者には公認心理士へ相談の時間を保障してきました。相談することで、自分自身を見つめ直し、心が軽くなる等メンタルヘルス対策につながっています。

法人新任研修 2021年2月1日

法人職員の意識を高めるために倫理観、服務心得や規範等を学ぶ研修を各園で行いました。年度後半にセキュリティの高いWEBツールを導入したため、ツールを活用して改めて法人の理念を学ぶ新任研修を行いました。WEBを通しての交流は難しさもありますが、WEB上でも楽しい会話を弾ませていました。

法人職員研修

法人全職員対象に毎年行ってきた研修会は一堂に会する事が難しく、見送ることになりました。その分、職員に文献を配布し、各園で園内研修の充実を図りました。後半は外部研修でもWEB研修が多く取り組まれ、複数で参加できる利点もあり、積極的に学習に取り組みました。

苦 情 の 受 付 と 内 容

苦情解決委員会 第三者委員 芝田幸子・一氏明美 2021年4月26日

2020年度の受診を伴った事故及び受診の経過と対処について。
保護者からの15件の苦情（保育について、職員の言動や対応について、保護者への連絡方法について、懇談会について等要望も含む）の対応とその後に講じた対策について、報告を行いました。（いずれも第3者委員に報告は不要）

たんぽぽ福祉会 2020年度 決算書

資金収支計算書 (単位:円)

勘定科目		決算	
事業活動による収支	収入	保育事業収入	601,924,679
		借入金利息補助金収入	7,000
		経常経費寄附金収入	1,457,050
		受取利息配当金収入	393
		その他の収入	8,571,778
	事業活動収入計		611,960,900
	支出	人件費支出	447,680,662
		事業費支出	47,872,160
		事務費支出	35,378,090
		支払利息支出	587,721
その他の支出		7,213,459	
事業活動支出計		538,732,092	
事業活動資金収支差額		73,228,808	
施設整備等による支出	収入	施設整備等収入計	3,227,880
	支出	設備資金借入金元金償還支出	10,204,000
		固定資産取得支出	17,542,036
施設整備等支出計		27,746,036	
施設整備等資金収支差額		-24,518,156	
その他の活動	収入	積立資産取り崩し収入	1,757,786
		その他の活動収入計	1,757,786
	支出	積立資産支出	44,343,264
		その他の活動支出計	44,343,264
その他の活動資金収支差額		-42,585,478	
予備費支出			
当期資金収支差額合計		6,125,174	
前期末支払資金残高		84,061,775	
当期末支払資金残高		90,186,949	

事業活動計算書 (単位:円)

勘定科目		当年度決算	
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	601,924,679
		経常経費寄附金収益	1,457,050
		サービス活動収益計	603,381,729
	費用	人件費	447,868,908
		事業費	47,872,160
		事務費	35,378,090
		減価償却費	36,107,401
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-11,722,162
	サービス活動費用計		555,504,397
	サービス活動増減差額		47,877,332
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	7,000
		受取利息配当金収益	393
		その他のサービス活動外収益	8,999,957
	サービス活動外収益計		8,907,350
	費用	支払利息	587,721
		その他のサービス活動外費用	7,410,700
サービス活動外費用計		7,998,421	
サービス活動外増減差額		908,929	
経常増減差額		48,786,261	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	3,227,880
		その他の特別収益	586,715
		特別収益計	3,814,595
	費用	固定資産売却損・処分損	1
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,227,880
		その他の特別損失	658,955
特別費用計		3,886,836	
特別増減差額		-72,241	
当期活動増減差額		48,714,020	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額		310,426,739
	当期末繰越活動増減差額		359,140,759
	その他の積立金積立額		41,500,000
	次期繰越活動増減差額		317,640,759

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	101,286,583	流動負債	35,790,634
固定資産	908,460,010	固定負債	81,137,562
基本財産	551,763,702	負債の部合計	
その他の固定資産	356,696,308	116,928,196	
		純資産の部	
		基本金	179,149,955
		国庫補助金等特別積立金	169,227,683
		その他の積立金	226,800,000
		次期繰越活動増減差額	317,640,759
		純資産の部合計	
		892,818,397	
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	
1,009,746,593		1,009,746,593	

2021年度 予算

(単位:千円)

勘定科目		予算		
事業活動による収支	収入	保育事業収入	550,639	
		経常経費寄附金収入	220	
		その他の収入	9,090	
		事業活動収入計		559,949
		支出	人件費支出	426,634
	事業費支出		48,132	
	事務費支出		43,924	
	支払利息支出		339	
	その他の支出		7,850	
	事業活動支出計		526,879	
事業活動資金収支差額		33,070		

勘定科目		予算	
施設整備等による支出	収入	施設整備等収入計	2,940
	支出	設備資金借入金元金償還支出	8,974
		固定資産取得支出	4,722
		施設整備等支出計	13,696
施設整備等資金収支差額		-10,756	
その他の活動	収入	積立資産取崩収入	2,500
		その他の活動収入計	2,500
	支出	積立資産支出	18,810
		その他の活動支出計	18,810
その他の活動資金収支差額		-16,310	
当期資金収支差額合計		6,004	

枚方たんぽぽ保育園

枚方市中宮北町10-14

定員90名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業

2020年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	10	10	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	133	延長保育(トトロぐみ)利用数
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	673名
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	一時預り利用数
3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	2169名
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	病児保育利用数
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	71名
計	107	107	108	108	108	108	108	108	108	109	109	109	1297	
充足率													120%	



《コロナ禍でも楽しい保育を》

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、新年度が始まってすぐに緊急事態宣言が発出され、約1か月が原則休園になるなど、先の見えない不安な日々が続きました。保護者の皆さまにも日々の健康管理やウイルスを持ち込まないための対策と協力をお願いし、とにかく感染拡大防止に努めた1年でした。そんな中でも、これを機に保育の中で大切にしたいこと、その実現のためにどう保育を進めていくのか、保育の見直しを図りました。行事などはこれまで通りにとりくめないことが多々ありましたが、子どもたちに伝えたいこと、保護者と共感したいことについて職員間で繰り返し話し合いながら、子どもを中心に、新しい楽しい保育の形を探る1年となりました。

《みんなで命を守るとりくみ》

感染対策として、施設内の消毒・清掃、職員の意識の向上に努めました。毎朝の登園時に検温と手洗いを徹底し、感染の蔓延期には登降園時の玄関対応を行う、保育中は密を避け、午睡中の布団の敷き方や食事の席の配置に留意する等しました。また子どもたちにも絵本やその他の媒体を使って手洗い指導やコロナウイルスについての正しい理解を進める保健指導等を行い、正しい知識をもってみんなで命を守るとりくみをしました。

《夢の「園庭づくり、がついに完成！》

園庭を拡張して以来の目標だった「子どもが育つ園庭づくり」。今年度は昨年度に引き続き植樹と小築山・砂場の設置工事を行いました。カシワ・ユスラウメ・シャシャンボといった実のなる木を園庭の隅に新たに植え、子どもたちに紹介すると、「実がなるの?」「食べられるの?」と興味津々で見えていました。(春にはユスラウメが赤い実をいくつかつけましたが、大きくなる前にすっかり鳥にもっていかれてしまいました…残念)そして、大型総合遊具「ジャングラミング」を設置しました。カラフルな3階建てに大きなすべり台や登降棒、初めて見る「二本棒」に子どもたちは大喜び。安全に遊ぶためのルールを子どもたちと確認し遊び始めると、子どもたちは目を輝かせていろいろなところから登ったり降りたりしていました。これからいっぱい遊びながら、楽しく身体づくりにとりくんでいきたいと思えます。



いえ〜い! こんなんことできるよ!

《『こんにちは』で子育てを応援》

地域子育て支援のとりくみでは、当初の予定を変更したり中止することもありましたが、『園庭開放・こぶたのいえ』の開催を望まれる声が多くありました。コロナ禍で外出できず家で過ごしている親子に向けて少しでも情報発信ができないかと、親子遊びや給食メニューのレシピ、絵本の紹介、子どもの発育や子育てにかかわるあれこれなどを載せた地域子育て新聞『こんにちは たんぽぽ保育園です』を年間23回発行し、ホームページ上で公開しました。秋以降は一時預かりの問い合わせが毎日のようにあり、ニーズがますます高まっていることがわかりました。担当保育士の子育て相談がとても喜ばれました。

《こんな時だからこそ子育てでつながる》

家庭保育協力期間に「保育園に行けなくてもつながりが感じられることができないか」「保護者が協力できることはないか」との声が保護者の方から上がり、保育者から子どもたちに向けての動画配信に協力していただきました。「毎日楽しみに見えています」「一緒に〜しています」等の反響をいただき、不安な日々の中で保育者も大いに励まされました。クラス懇談会や保護者参加の行事が思うように行えず、保護者会活動も制限されることが多くありましたが、運動会のメダルづくりにはたくさんのお父さんお母さんが参加してくださって、今年もかわいい手作りメダルを、がんばった子どもたちにプレゼントすることができました。また当日もたくさんの方が自主的に準備や片付けを手伝ってくださり、本当に助かりました。平和のとりくみでは、子どもたち一人ひとりに「生まれてきてくれてありがとう」の思いを込めたメッセージをいただき、愛情たっぷりのメッセージコラージュを制作しました。子どもを真ん中に保育者と保護者とで力を合わせるこの意義と、保護者とともにつくる保育のよさを実感しました。



みんな頑張ったね!「りゅう」のメダルのプレゼント

暇たんぽぽ保育園

四條畷市清瀧445-9
定員70名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業
子育て支援拠点事業（つどいの広場 学童保育）

2020年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	6	6	6	6	6	8	10	10	10	10	10	10	98	延長保育(ほたる)利用数
1歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	85名
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	一時預り利用数
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	320名
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	病児保育利用数
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	120名
計	79	79	79	79	79	81	83	83	83	83	83	83	974	学童保育利用数
充足率													116%	112名

『おもいで保育はしあわせ保育やったなあ』 ～ ごとと一緒にと考えた新しい保育 ～



5歳児「おもいで保育」

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の中、感染対策を実施しながら保護者や子どもの声に耳を傾け、保育や行事を試行錯誤してみんなで一緒に作ることを大切にとりくんできました。「お泊り保育はできないけど、お楽しみ保育のような体験をさせてあげたい」との保護者の声を受け止め、5歳児は3月末に、子ども達のやりたい事を話し合いながら一緒に「おもいで保育」を作りました。「宝物探しがしたい」「探検がしたい」「ご飯をみんなで食べたい」等々、卒園を前に子ども達は想像力と製作活動を発揮しました。仲間と心をついに夢中になって遊んだ子どもたちは、「おもいで保育はしあわせ保育やったなあ！！」とつぶやいていました。この言葉に保育士たちは励まされ前に向かって進んでいます。

なわてっこはまつり大好きっこ ～ みんなでつくるみんなのおまつり ～



どんな状況の中でも、子ども達は「なにか面白い事はないかな？」と興味や関心を広げ、友だちと遊びをつくり楽しむ力を持っていました。ある日、「せんせい、あのさーよっといでまつりないの？ 学校でまたしたいなあ！」と子どものつぶやきから、今年は新しい行事として「なつまつり」「あきまつり」にとりくみました。子どもたちは自分たちの体験をもとに「お店屋さんなににする？」「ゲームもいいな」「食べ物屋さんもあるな」と次々イメージして自分たちで作るおまつりを考えて行きました。材料も話し合い・全園児分作るとなると大量ですが、朝夕異年齢で楽しんで作っていました。「みんなでつくるみんなのおまつり」は、子どもたちの遊ぶエネルギーが集まり保育園が一つになり、みんなが元気になりました。なわてっこはまつり大好きっこたちに育っています。



「みんなで、あきまつり」
(異年齢で楽しむ)

《子育て支援は、新しいつながり方を求めて模索》 — 青空保育や秋の味覚狩り —

子育て支援「たんぽぽつどいの広場」は、緊急事態宣言中閉所し解除後は3密を避けて、相談活動や園駐車場を使って「青空市場」や「秋の味覚狩り」など少数の親子で遊べるとりくみを行いました。また、子育て新聞「こんにちは」に遊びのキッドをつけて配布すると、「先生、お家で作ったら子どもが遊んでくれました」と報告してくれるお母さんもいました。つながりを求めているお母さんの声を受け止めて、また、良い子ネットの登録会員をスタートして子育て応援を配信しました。これからも、新しいつながりを模索して発想の転換に努めていきます。



親子でお買い物ごっこ
「青空市場」

《職員の資質向上にむけて》



職員全員で、感染症について繰り返し学び、感染対策にとりくんできた1年でした。人権意識向上の為、自己チェックをして子どもの権利保障にも努めました。



2020年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	6	7	8	9	11	11	11	11	11	10	10	111
1歳児	11	11	11	12	12	11	12	12	12	12	12	13	141
2歳児	10	10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	123
計	26	26	29	30	31	32	33	33	34	33	33	33	375
充足率													100%

《複数の管理職で安心・安全な環境づくり》

- ・2020年度は副園長を迎え管理職2人体制になったことで、コロナ禍という常に緊張する毎日を、対策・対応等相談しながらでき、園児・職員に対して安心安全な環境作りや情報の伝達がスムーズにできました。
- ・0歳児、1歳児の年度途中の受け入れで経営の安定につながりました。



《学びを力に新しい発想で》

緊急事態宣言時に保育者がグループごとに同じ文献で学習し、後半「学び合いの場」を持ちました。また、「0歳児の保育で大事にすること」を身体、こころ、あそびなど領域別に学習を積み重ねました。その内容を冊子としてまとめ、全職員の0歳児保育の共通の視点ももてるテキストとして活用していきます。

学び合いを通してお互いの意見交流をおこない、後半の保育では、生活や行事のとりくみ方にも「コロナ禍だけでも、〇〇はできないか」など発想を変えた視点で、運動会、発表会など、保護者の協力も得ながら“保護者と共に子どもたちの成長を確認、喜びあう場”を持つことができました。これからも学びを力にしていきたいと思います。



発表会は舞台を真ん中に。保護者に見守られながらとりくみました。

《地域における子育て支援活動》

地域の親子が安心して集える場、お母さん同士が繋がりが合える場をどう作っていくか模索した一年でした。

「友人のお母さんとも話ができず、子育てに行き詰まってしまう」など声が寄せられコロナ禍ほど地域活動の必要性を感じ、どんな形ならできるか知恵を出し合いました。

緊急事態宣言の合間を縫って青空保育（人が多い時は公園の近くの散歩に変える）。近くの集会所を借りて人数を制限した赤ちゃん会や遊ぼう会のとりのくみ。地域新聞ではあそびや生活に役立つ情報の提供。季節の制作キットを作り、園の前の地域新聞ボックスに入れて自由に取りに来てもらうことなど、できることをしながら地域の方となんとかつながってきました。

今後も地域の親子にとって安心できる場を考えていきたいと思っています。

《働きやすい職場づくり》

職員会議、パート会議を基本として定例化し、子どもたちの姿や成長を確認、検討、共有しました。また、コロナ禍での行事については、職員それぞれの思いや意見を出し合いながら共通認識を作ったことが行事に生かされ、職員間の信頼につながりました。



津の辺保育園

大東市南津の辺町2-32

定員90名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業

2020年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	9	9	10	10	10	11	11	12	13	13	13	13	134	延長保育利用数
1歳児	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	219	225名
2歳児	14	14	13	13	14	11	12	12	12	12	12	12	151	一時預り利用数
3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	263名
4歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	169	病児保育利用数
5歳児	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	235	112名
計	93	93	92	92	93	92	93	94	95	95	95	97	1124	
充足率													104%	



《どんな時でも子どもってすごい！～いつもと違うコロナ禍での保育～》

「緊急事態宣言」から始まった2020年度。約3か月間が休園と自粛期間中になりました。休園中は「保護者の就労支援」と「発達保障」という保育園の本来の役割を担うことができず悶々とした思いでした。自粛期間も終わり（6月半ば）久しぶりに友達に出会った子どもたちは顔を見合わせ、笑いあい本当にうれしそうでした。その姿を見て再び休園などにならないように、今できること（新型コロナウイルスを学ぶ、消毒、清掃など）を職員で徹底しようと思いました。また保育は「7月からの始まり」と考え、こどもに無理させないこと。そして今まで行っていた行事の大切さなどを改めて押さえ直しつつ、どのようにすれば「3密」を避け行うことができるのか？職員で知恵を出し合い、保護者にも丁寧に伝えて行きました。そんな中でも運動会が終わった秋ごろには、6月からの保育とは考えられないほどの子どもの成長を感じられました。「生活発表会」は残念ながら、ビデオ録画のみになりましたが、子どもたちはビデオ収録の日に向けてひとり一人が頑張りきろうとする姿と集団の成長が見られ、こどもたちの枠にはまらない成長発達の可能性を改めて感じる事ができた一年でもありました。

《ともだちといっしょにあそべること～それが平和～》

毎年8月に行っている「平和のつどい」は、緊急事態宣言で保育園がお休みだった時の、こどもの思いを聞いてみることから始めました。「ともだちとあそびたいな～っておもってた。」「ちょっとさみしかった」「（保育園がはじまったら）やった！〇〇ごっこであそべるっておもってたん」など言い合っていました。人と人が接触しないようにすることが感染防止の原則ですが、ともだちとつながりたい子どもたちの気持ちに納得です。コロナ禍から見てきた平和は「ともだちといっしょで遊べるために平和がいい！」ということでした。



《下りたり、転がったり素敵な芝生の山が完成！》

2019年度に老朽化のためジャングルジムを撤去しました。その後「園庭遊具を考える実行委員」をつくり何度も話し合い、6月に緑の芝生の山が完成しました。60cmほどの高さなのですが、乳児も幼児も登ったり、下りたり、転がったり……大好きな場所になりました。

《すみれぐみ 親子のつどい》 — 民族芸能若駒とともにソーラン節 —

例年のように行事を実施できなかった年長児と保護者を対象に3月に「民俗芸能若駒」に来て頂いて、親子のつどいを行いました。（緊急事態宣言が明けた合間に実施。）

「ひとりずもう」に大笑いし、獅子舞に怖がりながら頭をかんでもらい、プロの太鼓の力強さに驚き、最後は親子でソーラン節を踊って楽しいひとときを過ごしました。



《おうちで遊べるキッドをつけて、地域新聞の発行！》

地域活動が制限されました。「今できること」を考えあい、家で遊べる手作りおもちゃキッドや塗り絵などを地域新聞とともに発行しました。ご近所の方から「この間塗り絵をやってみました」などの声も聞かれました。緊急事態宣言が明けると一時保育の希望者が増えていました。家に滞在するしかなかった家庭の子育てへの疲れや、仕事を探さず家庭が増えたように感じます。

2020年度津の辺保育園保護者会より職員に「感謝状」を頂きました。「コロナ禍の中子どもたちが楽しんで園で遊べていること……（略）日々感謝をしている保護者がたくさんいることを忘れないで下さい……（略）」という文面に温かい気持ちになりました。ありがとうございました。



社会福祉法人たんぽぽ福祉会 役員等

理事長 早瀬眞喜子 2021.6.19改選
 理事 酒井眞澄・西島まゆみ・日野美保・林あすさ・谷野円理子・大野孝幸
 監事 芝田幸子・疋田英司
 評議員 黒田美光・久保徳弘・小林徹也・嶋 浩章・御池伸明・吉住美佳・真鍋 穰・上西 克明



枚方たんぽぽ保育園

〒573-1194 枚方市中宮北町10-14
 TEL 072-840-2083 FAX 072-840-9614

つくし保育園

〒573-1196 枚方市中宮本町1-29
 TEL 072-848-5734 FAX 072-807-3294



暁たんぽぽ保育園

〒575-0063 四條畷市清瀧445-9
 TEL 072-863-3368 FAX 072-863-2368



津の辺保育園

〒574-0016 大東市南津の辺町2-32
 TEL 072-876-8327 FAX 072-876-8347

たんぽぽ福祉会本部

〒573-1194 枚方市中宮北町10-14 TEL 072-894-8651